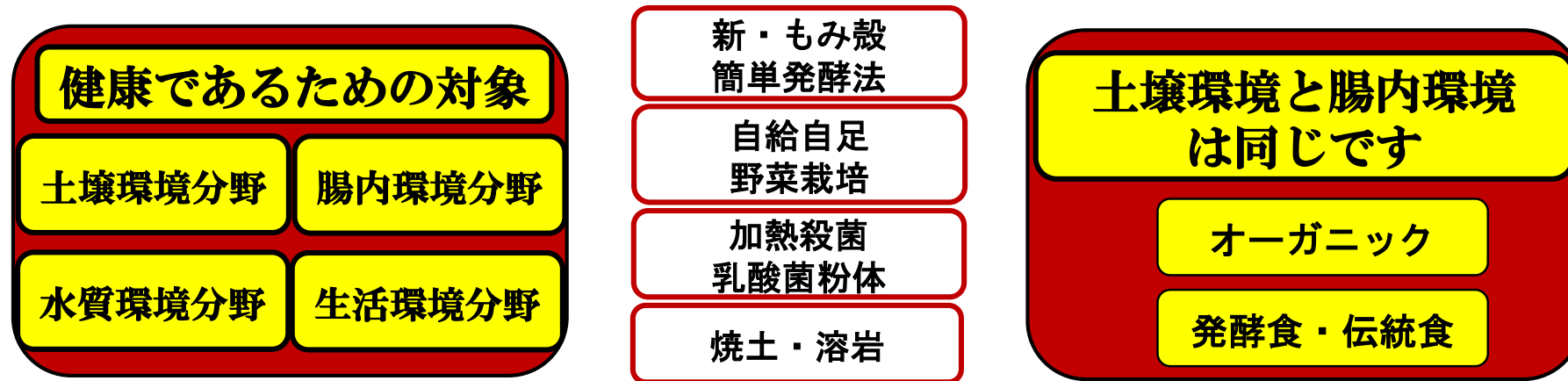


健康ユニティー事業図



健康ユニティー（バイオマスもみがら研究会）：ホームページ <https://www.npomomigara.jp/>

発酵 もみがら

ケイ酸植物である稲のもみ殻を発酵分解することで水溶性ケイ酸が増加します。土壌内で短期間に土化し、微生物の増加、光合成が活発化します。そのもみ殻は今、産業廃棄物扱いですが「新・簡単もみ殻発酵法」の導入によって低コストで誰でも水溶性ケイ酸を自分の田畑に還元が出来ます。

ケイ素

酸素の次に多い元素であるケイ素は、以前は大気中・水中にいくらでも存在していましたが今は、土壌からも人体からも減少しその害が出始めています。ケイ素16は炭素4と反応してカルシウム20になるといわれており、骨・髪・臓器。細胞壁等を強靱にするとともに毒素等の解毒に関与しています。

酵素

人体の複雑な化学反応を担っている消化酵素・代謝酵素は、細菌類のような簡単な生物でさえ1000種類以上の酵素が働いているといわれています。膨大な数の酵素は鍵と鍵穴の関係にあり、ベストの条件下で特定の酵素と特定の対象がピッタリ一致すると途方もないスピードで触媒とそして働きます。

酵母

有用微生物(細菌・真菌・・)の総称が酵母です。酵母と酵素によって発酵が起こりビールや酒・味噌等の発酵食品が出来たりするさまざまな化学変化が起こります。酵母(微生物)は酵素とともに発酵分解を定温・定圧・中性下で触媒して土壌環境や人体環境における合成・分解・消化・産生等の化学変化を猛スピードで行ないます。

微生物

土壌環境と腸内環境は同じです。共に微生物によって田畑も人も健全性が担保されていますが過度な農薬や除菌・殺菌等によって生活環境が劣化し免疫が落ちています。腸内菌は免疫機能を維持し、ウイルスやストレスで人体に異常が発生するとその情報を脳に伝え、脳が全体に指令を出し、病んだり傷ついたところを自己治癒します。

炭・鉄

土壌環境鉄と炭素を混ぜたものを水に入れると、鉄と炭素の電位差によって電池が形成されます。炭は水質浄化に一役買いますが、鉄からはその炭(炭素)に電子が流れて二価鉄イオンが水中に溶け出します。鉄イオンを吸収した植物は光合成が活性化します。そして鉄イオンは、水中のリンに反応して富栄養化を防ぎ、水質は保たれます。